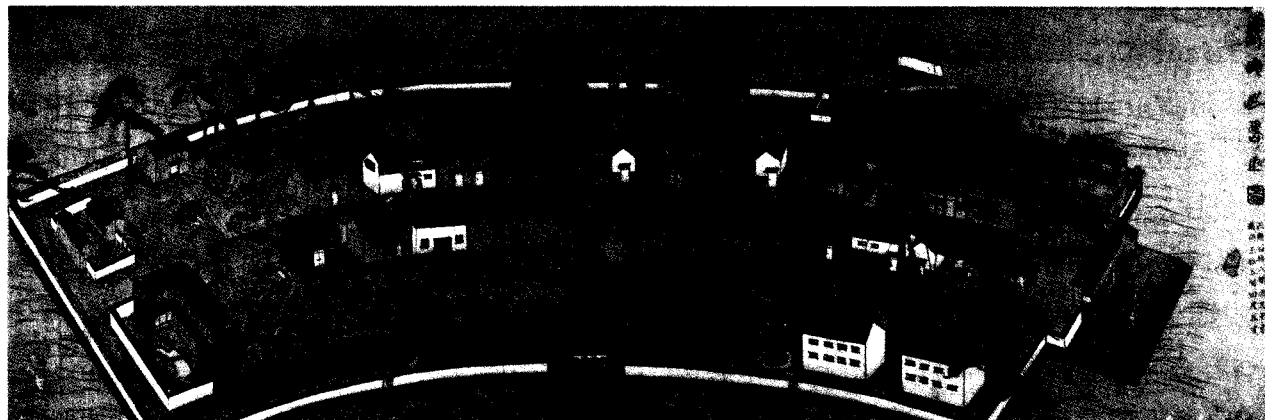




THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

No.86

図 書 館 ニ ュ ー ス

2002年（平成14年）8月31日

目 次		
情報化のなかの経済学部分館	1～	3
幕末・明治期日本古写真超高精細画像データベース公開		4
電子ジャーナル紹介	5～	6
Webからの文献複写・図書借用依頼サービス開始		7
図書館ガイダンスおよび教養セミナー（資料収集ガイダンス）実施報告		7
経済学部分館からのお知らせ		8
古写真コレクションが充実		8
新着資料紹介		8
本学関係教官著作寄贈図書		9
附属図書館の利用等に関するアンケート中間抜粋報告	10～	13
平成14年度雑誌新規購入・購入中止リスト	14～	19
平成13年度附属図書館統計	20～	22
平成14年度附属図書館委員会委員名簿		23
人事異動・図書館日誌		24



情報化のなかの経済学部分館

附属図書館経済学部分館長 柴 多 一 雄

最近の学生の生活でもっとも大きく変わったのは携帯電話の普及によるコミュニケーションの取り方だろう。いま携帯電話を持たない学生をさがすのはきわめて難しい。若い人々にとって携帯電話はすでに身体の一部と化しているような感じさえある。おそらく携

帯電話を抜きにした生活は想像できないものになっているのであろう。

情報技術の発展は、学生の生活だけでなく、学習のありかたにも大きな変化をもたらしている。私のゼミでも、図書や雑誌だけでなく、インターネットで調べたという

報告が、ここ2、3年かなり見受けられるようになった。検索機能を使えば、知りたいことが一応何でも調べることができるのだから、インターネットは非常に便利である。わざわざ図書館に行って本を探し出し、必要なページを開いてメモを取ったり、コピーをする必要もなく、調べたい言葉を打ち込んでやれば、それについての記事がいろいろ出てきて、これと思ったものをプリントアウトすればそれでいいのだから、これほど便利なことはない。

もっとも、どのホームページで調べたかを聞いても覚えていなかったり、内容の間違いを指摘しても、ホームページにはそうなっていました、という答えしかかえってこない場合が多いのは問題だが、これは本で調べた場合でもありうることだし、要はインターネットを使つての学習方法をきちんと確立するしかないのであろう。

私も、インターネットを利用する機会はここ数年のあいだに急激にふえてきた。検索機能を使って思わぬ情報を得たことも1度や2度ではないし、図書館のOPACは頻繁に利用している。かつては図書館まで出向いて行って、カードボックスのなかのカードを1枚1枚繰って目的の図書を探していたものだが、忙しいなかを図書館まで行って目的の図서가なかったときのなんともいえない無力感を何度味わったのだろうか。現在では、ある時期以降のものについては、研究室のパソコンから学内だけでなく全国あるいは世界中の図書館の書誌的な情報を得ることができる。

書誌的な情報だけでなく、内容についても電子ジャーナルが増えて、雑誌論文につ

いては内容まで見るができるようになってきている。また電子ジャーナル化されていない雑誌についても、相互利用によっていながらにして複写依頼ができるようになっている。そしてこの傾向は今後ますます進んでいくことであろう。

図書館に行かなくても、研究室から必要な情報を得ることができるという状況になってきているといっているのかもしれない。

このように、情報化の進展によって図書館の機能が大きく変化、向上している一方、建物としての図書館は目を覆うような状態である。経済学部分館も、図書の収容能力はすでに飽和状態をとくに越えてしまっている。昭和46年に建設されてから、基本的にはほとんど変わっていないので、書庫に入りきらないものは東南アジア研究所に置かせてもらったり、学生閲覧室の一部を削って書架を置いたりしてしのいできたが、昨年度はついに事務室のスペースを削って書架を配置するまでになってしまった。しかし、毎年5,000冊のペースで図書が増え続けていくため、これもあと1、2年で限界に達してしまうのは明らかである。まさに焼け石に水とはこのことだが、なにもないでいるわけにはいけないので、なんとか騙し騙し破綻を先にのばしている状態である。

昨年度、経済学部ははじめて外部評価を受けたが、そのなかで施設（建物）と図書館の評価がもっとも低かった。施設については幸い昨年度の補正予算で校舎の増築が認められて、少しは改善する見通しがついたが、経済学部分館についてはまったく見通しがたっていない。

図書館の情報化が進み、機能が変化、向上していくなかで、建物としての図書館は今後いったいどうなっていくのだろうか。建物としての図書館は不要になっていくのだろうか。

大学図書館といっても、図書館に対する教官の要求や考え方は専門によってかなり異なっている。最新の情報をできるだけ早く手に入れたいという点では一致するが、その他の点では異なるところがあるのではないだろうか。たとえば情報化に対する対応ひとつとっても、自然科学系・医学系の研究者と人文社会科学系の研究者では温度差があるようである。

そのひとつは、雑誌と図書の関係で、人文社会科学系の研究者の場合は図書の利用の割合が比較的高いことである。自然科学系・医学系の研究者が著書を出すことはそれほど多くないと思われるが、人文社会科学系の研究者は論文を発表するとともに、発表した論文をまとめて著書とするのが一般的で、どちらかといえば著書のほうに大きな力がそそがれるようである。したがって、図書館に対する要求も、雑誌と同じくらいあるいはそれ以上に図書の整備が求められる。論文の電子化に比べて図書の電子化はそれほど進んでいないし、はたして図書が電子化になじむかという問題もあり、電子化に対応することも必要だが、十分な収納スペースを確保することこそ重要だという意見も強くある。

また雑誌についても、過去何年くらい前のものまで利用するかといった点では、自然科学系・医学系と人文社会科学系の研究

者とではかなり異なっている。人文社会科学系の研究者の場合は、考えられている以上に古い雑誌に対する需要が大きいのである。

そういう意味では、人文社会科学の図書館である経済学部分館の建物としての図書館の役割は、今後さらに情報化が進んでも増しこそすれ低下することはないであろう。

研究者としての教官のことばかり書いてきたが、大学図書館が研究者としての教官のためにだけあるのではないことはもちろんである。むしろ建物としての図書館は学生にとってこそ重要だといわなければならない。学生がインターネットを通じていろいろな知識を得るという状況は、今後さらに進むと思われるが、書物を通じての学習がなくなることはないであろうし、学生がきちっとした知識をつけるためには、十分な蔵書（と当然それを収容する十分なスペース）と快適な閲覧スペースを備えた図書館の重要性はこれからもおそらく変わらないであろう。

図書館は大学の顔だといわれる。その大学でどのような研究が行われているのか、どのような教育がなされているのか、図書館に行けばひと目でわかるからである。これから大学の多様化と選別がすすむなかで、大学の顔としての図書館の充実がいまほど必要な時期はないのではないだろうか。

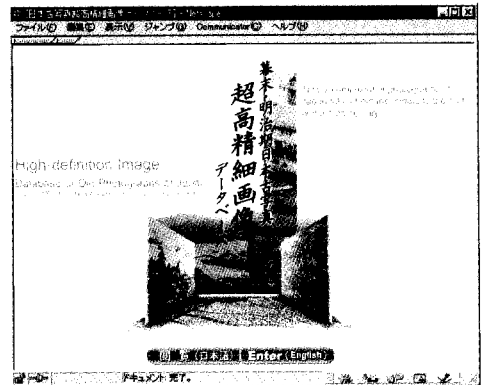
幕末・明治期日本古写真超高精細画像データベース公開

(情報システム係)

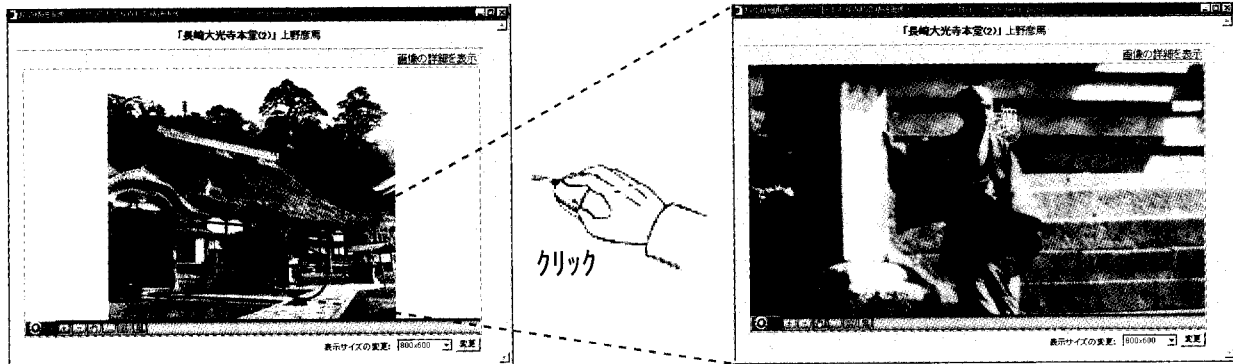
附属図書館では、平成10年度から古写真データベースを公開していますが、「もっと画像を大きくして見たい」「画像の細部が見てみたい」という要望に応えるために、今回新たに、幕末・明治期日本古写真超高精細画像データベースを、平成13年度科学研究費補助金の配分を受け、日本語版及び英語版両言語で構築しました。

これは、附属図書館所蔵の幕末から明治にかけて撮影された日本の風景・風俗の写真約5,400点の中から、長崎に関した201点を厳選し、フラッシュピックス形式により電子化したものを、インターネットを介して、パソコン画面で画像をクリックすることで虫眼鏡で見るように拡大して見ることができるものです。

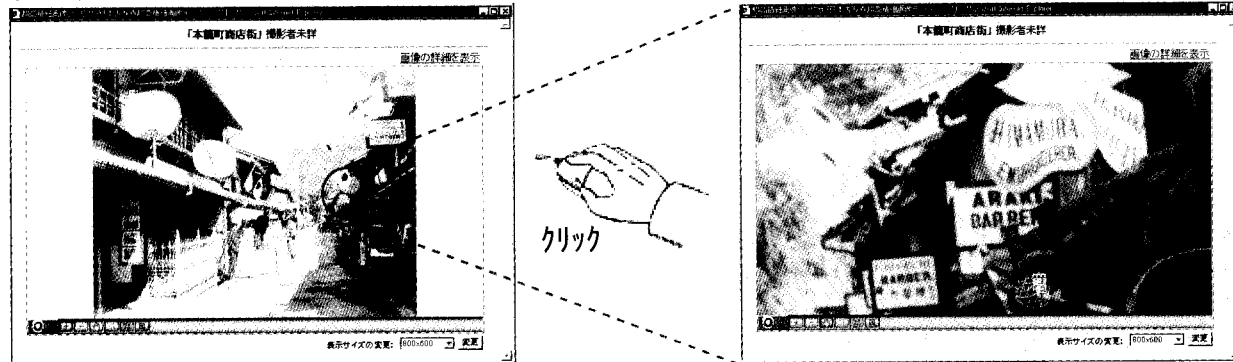
検索方法は、3種類の地図(市街地眺望・中島川周辺・外国人居留地)を用いた撮影ポイント検索、撮影者・撮影年代・撮影地区を選択する検索。タイトルと解説文の全文検索を用意しています。また、それぞれの画像には400字程度の解説文を付しています。なお、今年度中に東京、横浜、神戸等全国各地の画像300点を追加いたします。



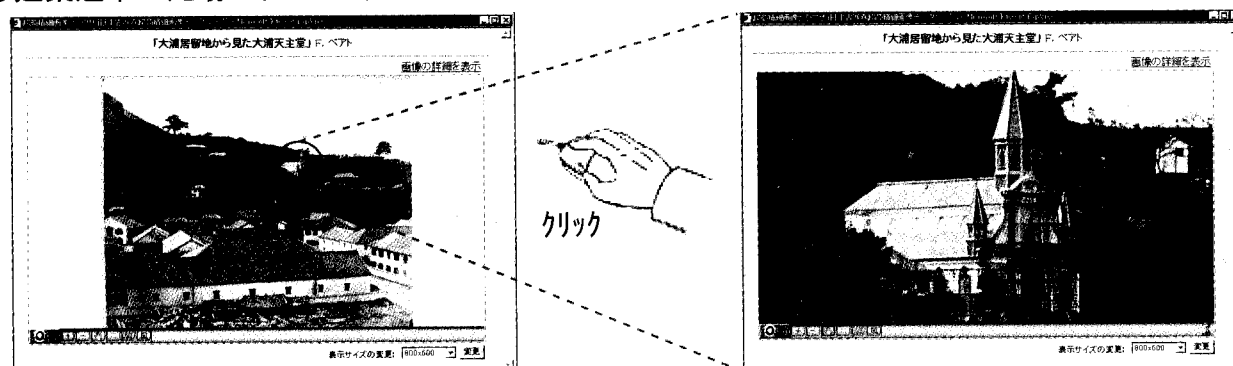
○画像を拡大すると・・・長崎ゆかりの写真術の開祖「上野彦馬」の顔が見えてきます。



○商店街の看板 (ARAKI BARBERなど) が見えてきます。



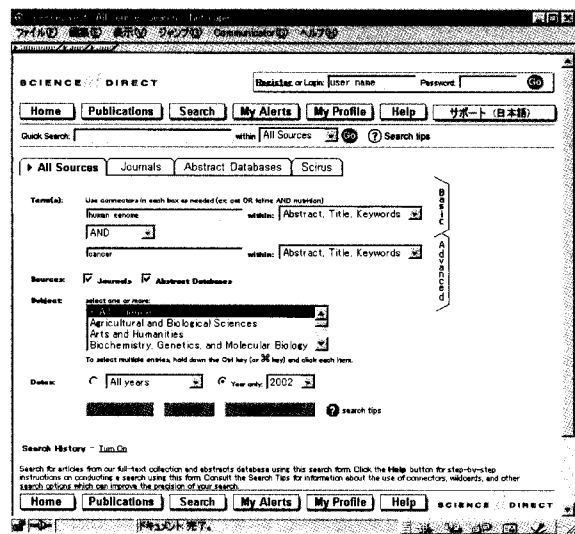
○建築途中で足場が組んであり、現在の建物とは違う大浦天主堂が見えてきます。



URL: <http://zoomphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/>
(エル・ビー)

ScienceDirect の Search 機能で文献情報が調べられます！

ScienceDirect の Search メニューでは、掲載誌の論文検索の他に、Medline の検索や科学・技術・医学のコアジャーナル 7000 誌から 1200 万件の文献情報を収録した Navigator の検索もできます。



← ScienceDirect の Search 画面

キーワード等の検索条件を指定することにより、ScienceDirect 掲載 Journals の他に、Abstract Databases である Medline や Navigator も対象とした文献情報検索をすることができます。

Navigatorの収録分野は、ライフサイエンス・臨床医学・農学・環境科学・社会行動学・心理学・物理学・化学・地球科学・工学・コンピュータ技術で、収録レコードの約70%に抄録が付与されています。

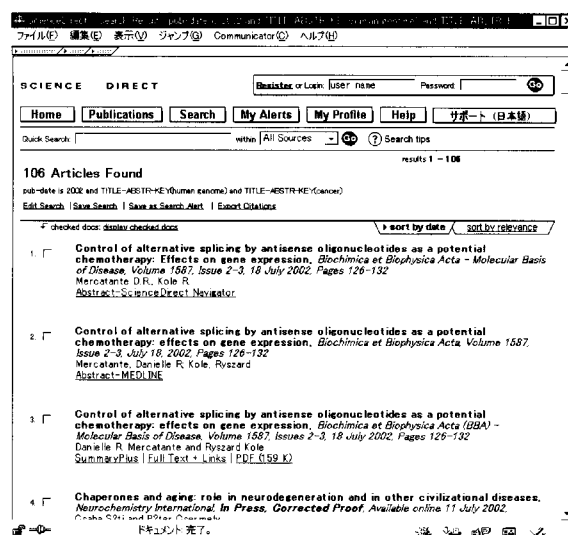
検索結果の一覧表示 →

検索条件に適合した文献の書誌レコードが一覧表示されます。

ここから Medline や Navigator に収録されている抄録を見ることができます。

また、ScienceDirect に原文が収録されているときは、Summary や Full Text (HTML 又は PDF) を見ることができます。

単一プラットフォーム上での二次情報の検索結果から一次情報へのリンクという連続的なナビゲーションが可能です。

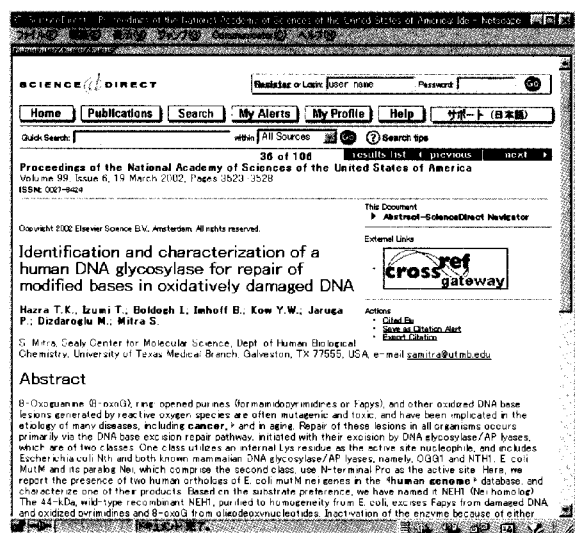


← CrossRef による外部リンク

ScienceDirect に掲載されていない文献については、多数の出版社の共同事業である CrossRef をゲートウェイとして、リンクをたどることも可能です。

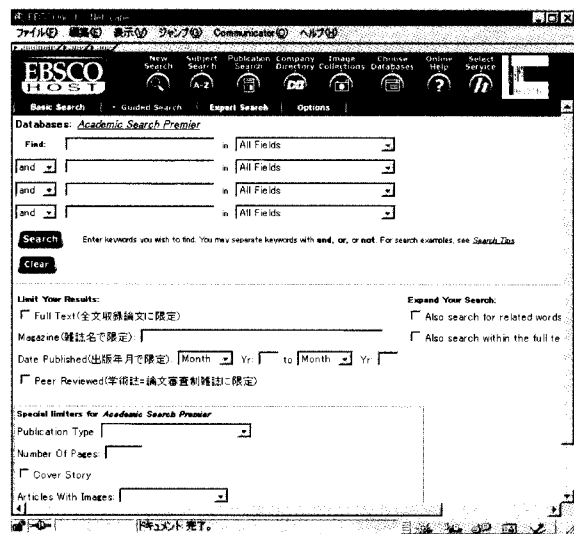
ScienceDirect の Search 機能では、掲載誌のみならず、二次情報データベースである Medline や Navigator を用いた、より包括的な文献情報検索が可能です。

ScienceDirect を文献調査にもご活用ください。



文献検索に最適のデータベースが現在トライアル中です！

EBSCOhost、ProQuest（雑誌論文データベース）及び CSA（抄録データベース）が10月31日までトライアル中です。外国雑誌1万誌以上を対象とする文献の調査及び入手が可能となっています。



← EBSCOhost の Search 画面

EBSCOhost は、多数の出版社の数千タイトルにのぼる外国雑誌を、インターネット上で検索し、得られた論文の全文・抄録を印刷・保存・E-Mail 送信できる、オンラインデータベースです。

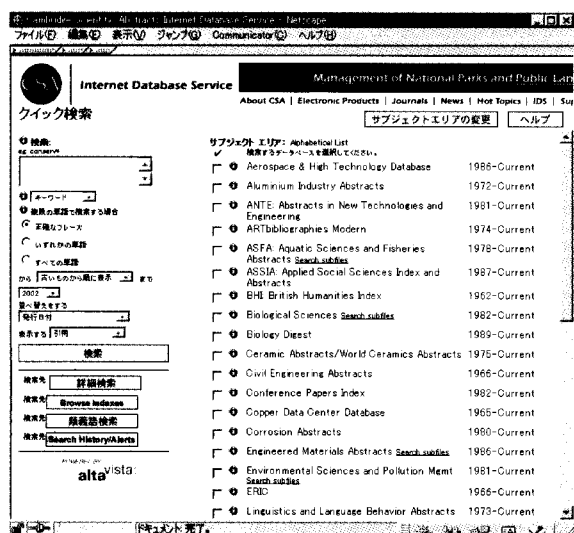
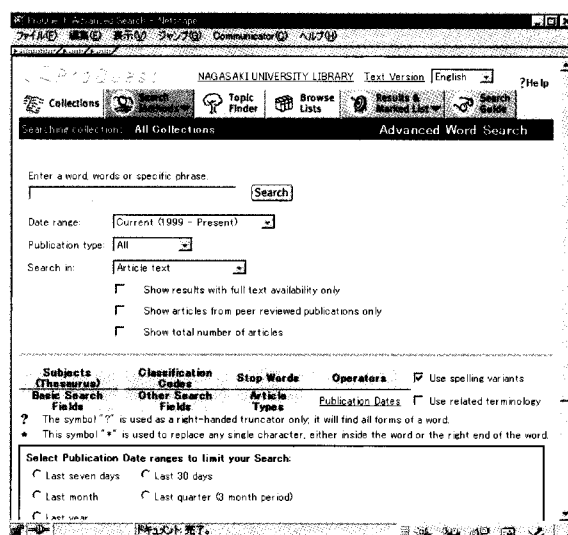
トライアルは経済・教育分野の雑誌を多数含み、同時に Agricola、BIOSIS、EconLit、Education Abstracts、ERIC、INSPEC、PsycINFO、SPIN など定評ある各種抄録データベースも利用できます。

ProQuest の Search 画面 →

ProQuest も多数の出版社の数千タイトルにのぼる外国雑誌をインターネット上で検索し、得られた論文の全文・抄録を入手できる、オンラインデータベースです。

トライアルでは、経済経営・ビジネス・保険・社会科学・人文学・教育・一般科学・音楽・芸術が対象となっています。

また、160 万件以上の学位論文抄録の検索も可能です。



← CSA の Search 画面

Cambridge Scientific Abstracts 社の抄録データベース 19 点が利用できます。

主題分野は、航空宇宙科学、農学、水産科学、人文・芸術、生命科学・医学、コンピュータ技術、地球・環境科学、専門工学、材料科学、社会科学です。

以上のデータベースは、図書館ホームページの「サービス案内」から「データベース検索」を選択すれば利用できます。

(電子情報係)

Webからの文献複写・図書借用依頼サービス開始

附属図書館では、以前より利用者の皆様からのご要望が多く寄せられていました、Webからの文献複写・図書借用依頼サービスを、平成14年7月より開始いたしました。

長崎大学附属図書館の図書館利用者証（カード）をお持ちの方なら、利用が可能です。ただし、依頼する際は学内の端末から申込みしないと依頼できない設定をしていますので、ご注意ください。

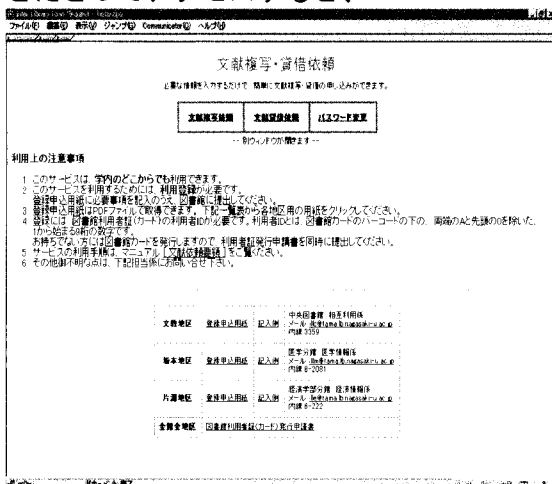
附属図書館ホームページ

(<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>)

→サービス案内ボタン →サービス案内

→文献複写・図書借用依頼（学内限定）

とたどってアクセスすると、



(http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/nagasaki-u/ill_order.html)

の画面が出てきます。

「登録申込用紙」を画面上に置いておりますので、利用登録をされ、「文献依頼要領」をお読みのうえ、ご利用ください。

この件に関するお尋ねは、

中央図書館相互利用カウンター

(内線一文教3359)

医学分館カウンター

(内線一坂本2081)

経済学部分館カウンター

(内線一片淵222)

までお願いします。

図書館ガイダンス及び教養セミナー（資料収集ガイダンス）実施報告

附属図書館参考調査係では、昨年度より図書館ガイダンスを開催しています。

昨年度は、前期28回開催252名参加、後期13回開催82名参加、合計して41回開催して334名の参加がありました。

本年度は、前年度の実施結果を分析して、従来の図書検索コース・雑誌検索コース・新聞記事検索コース・文献検索応用コースに加え、気軽に参加していただけるよう図書館ツアーコースも加え、4月より開催いたしました。本年度4月～7月の4ヶ月で43回開催、296名の参加がありました。

また、本年度は、これとは別に、全学教育で「教養セミナー」が開始されましたので、これに伴う「資料収集ガイダンス」も実施しました。この「教養セミナー」は、指導教官と新生が所属学部の壁を取り払って、新生10名ないし11名と指導教官でゼミを組み、話し合いでテーマを主体的に決定し、レポートを作成したり発表を行ったりするものです。その際の資料収集に役立てていただけるよう館内配架説明・資料の収集方法説明・OPACやWebCATの検索実習をいたしました。「教養セミナー（資料収集ガイダンス）」には、4月～6月で100クラス、1,057名の参加がありました。

これだけ多数の参加者に対応するため、図書館では全館挙げての実施協力をいたしました。検索端末も図書館内設置分では足りずに、全学教育講義棟内の端末で行ないましたが、図書館内でもある程度の端末を増設して実施するほうが、参加者にとっても移動等の負担が少なくなるので、実施メニューともども今後の課題と考えております。

図書館といたしましても、今後ともさまざまなチャンネルを活用して、利用者の皆様に図書館の利用方法をマスターしていただき、卒業論文や発表や実験の際の資料等の収集にお役に立てればと切に願っておりますので、どうか図書館ガイダンスや、教養セミナーの資料収集のガイダンスにお気軽にご参加ください。お待ちしております。

経済学部分館からのお知らせ

夏期休業期間の夜間開館を実施

経済学部分館では、このたび下記のとおり夏期休業期間中に、夜間開館を実施することとなりました。より多くのご利用をお待ちしております。

記

期 間 8月12日～9月30日

時 間 17:00～20:00 (平日)

※土曜日は従来どおり10:00～17:00

古写真コレクションが充実

附属図書館では平成13年度、文部科学省から特別図書購入費の配分を受け、大型コレクション「日本初期古写真関係資料」を購入しました。

古写真アルバム6冊、絵葉書アルバム2冊、1860年代初頭の名刺大写真9枚組(ミルトン・ミラー撮影)などに映像関係資料等を加えた、たいへん貴重なコレクションです。長崎関係の写真も含まれています。

これにより本学の古写真コレクションは約600点増えて6000点を超えました。今回購入分は現在整理中ですが、今後、インターネットで公開中のデータベース「幕末・明治期日本古写真コレクション」に加えていく予定です。古写真研究はもとより、郷土史、文化史など多方面の研究の貴重な史料として活用していただけることでしょう。(下図は長崎市内梅香崎橋付近を撮影した写真)



新着資料紹介

1. 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引 集成人文科学編」

中央図書館では、このたび、「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成人文科学編」(皓星社)全50巻を購入しました。

このシリーズは、明治期から、国立国会図書館が「雑誌記事索引」の作成を開始する昭和23年までに発表された人文科学分野の雑誌記事の目次を検索できます。

カバーする分野は

国語・国文学／外国研究／思想・哲学

芸術・文化／日本史／映画・演芸

新聞雑誌文学／教育／考古学・民俗学

西洋史／東洋史／仏教学／文学

西洋文学・語学

など、人文科学全体にまたがっています。

附属図書館のホームページからもリンクしていますが、

<http://www.libro->

koseisha.co.jp/top01/main01.html

にアクセスすると、社会科学編など他の編の分も含め、執筆者索引や総目次を検索することができます。

研究・教育にお役立て下さい。

【配架場所】

中央図書館2階 参考図書閲覧室

2. 「助成団体要覧2002：民間助成金ガイド」

民間助成団体の実状を紹介するとともに、助成金や奨学金に関する調査をすることができます。

助成金や奨学金等研究資金の充実にご活用ください。

【配架場所】

中央図書館2階 参考図書閲覧室

経済学部分館 開架図書閲覧室

医学分館 開架図書閲覧室(1998年版)

本学関係教官著作寄贈図書（平成 14 年 3 月～ 7 月）

蔵書に加えて頂きまして、ありがとうございました。これからも著作物を刊行されました際には、図書館へのご寄贈をお願いいたします。

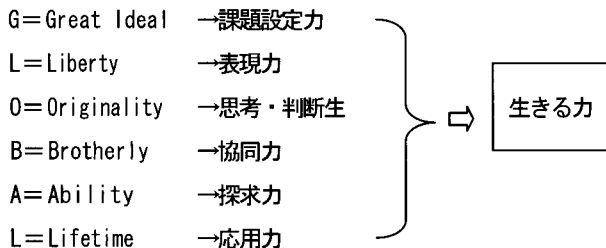
総合的な学習の時間：学びつづける力が育つ GLOBAL 活動

— 子供の「思いや願い」が生きる体験活動 —

安河内義己（長崎大学教授）・福岡県甘木市立南陵中学校 著（明治図書）

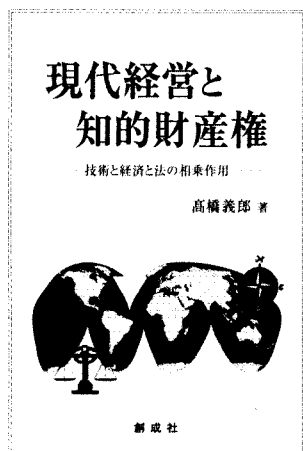
GLOBAL とは「範囲の広い」の義である。

本書ではこれをさらに次のような「生きる力」として定義する。



この力を 2002 年度から小・中学校で施行されている「総合的な学習の時間」で育てる、というのである。虚学と実学をどう関わらせるかを方法論とする本書は、教科教育にも必要！

配架場所：中央館開架（附属図書館長・教育学部教授 安河内義己）



「現代経営と知的財産権」 高橋義郎 著（創成社）

知的財産権が経済発展の国家戦略として浮上してきた。1980 年代から米国に始まるプロパテント政策が我が国においても急速な立ちあがりを見せている。企業経営において知的財産をどのように創造し、権利化し、育成し、活用するかが企業価値を左右するようになってきた。その背景は、コンピュータ技術とコミュニケーション技術の融合すなわち IT の登場である。本書は、著者の長年にわたる企業における技術・法務知見をもとに知識・知恵の成果である知的財産を技術と経済と法の相乗作用から多面的に捉えたものである。

配架場所：経済学部分館開架（経済学部教授 高橋義郎）

「星はなぜ輝くのか」 尾崎洋二 著 朝日新聞社（朝日選書 694）

夜空に輝く星も、生きものと同じように、生まれ、成長し、最後は死んでいく。そして、星が死んでいく際に宇宙空間に撒き散らされた星屑から、わたしたち人間も生まれた。

本書は、星の一生と輝く仕組みについてやさしく解説したものである。各章では、主題である科学的な研究成果だけでなく、星座の話、星座にまつわる神話、恒星の研究史についても述べて、読みやすいように工夫した。理科離れが叫ばれる昨今、本書を通じて、科学のロマン、宇宙のロマンにふれて頂けたらと思う。

配架場所：中央館開架（教育学部教授 尾崎洋二）



附属図書館の利用等に関するアンケート中間抜粋報告

長崎大学附属図書館の図書館サービスに関して、平成13年6月20日（水）から29日（金）にかけて、各学部等の学部学生（専攻科生、研究生・科目等履修生を含む）・院生・教官に対してアンケートを実施しました。このアンケートは利用者から図書館サービスに関し評価を得て、図書館サービスを改善し、今後とも利用者のためにより積極的サービスを展開することを目的とするものです。あわせて、本年度に実施する外部評価の基礎資料にも活用する予定です。

設問数及び内容については、学部学生・院生・教官の利用者区分に応じ、設問内容も多少差異を設け、学部学生に対しては44問、院生39問、教官39問の設問を準備しました。

アンケートに対しては、学生1,458件（調査票配布数2,885枚、回収率50.5%）、院生599件（調査票配布数1,221枚、回収率45.8%）、教官594件（調査票配布数1,064枚、回収率55.8%）の回答を得ました。

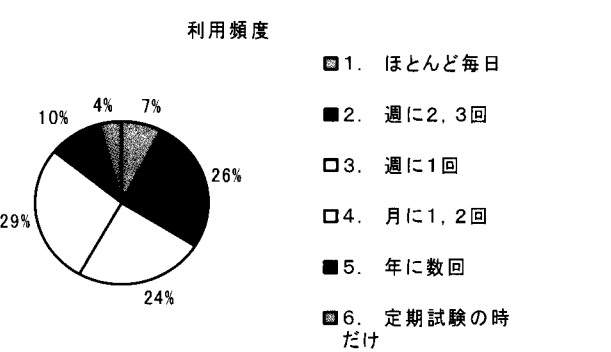
この貴重な利用者の意見を活用すべく、アンケート回答の集計は、中央図書館職員全員で行い、集計結果を分析するためにワーキング・グループを設置し、中央図書館・医学分館・経済学部分館の利用館別や所属学部別、あるいは、学部生・院生・教官別の利用者区分別の数値分析を行いました。

実際に分析してみると、利用館や所属学部別の違いに応じ回答内容に明らかな差異が生じている設問もあり興味深い結果も現れています。

以下は、学部学生及び教官からの回答結果の一部を抜粋して報告するものです。

<<学部学生回答分>>

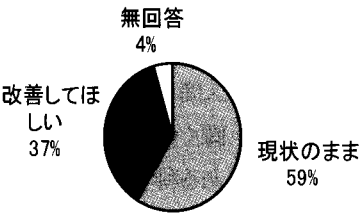
問. あなたはどのくらいの頻度で図書館を利用していますか。



	回答件数	回答比率
ほとんど毎日	101	7.4%
週に2, 3回	359	26.4%
週に1回	332	24.4%
月に1, 2回	376	27.6%
年に数回	135	9.9%
定期試験の時だけ	58	4.3%
合 計	1,361	100.0%

問. あなたは現在の開館日・開館時間についてどのように感じていますか。

	回答件数	回答比率
現状のまま	803	58.7%
改善してほしい	506	37.0%
無回答	60	4.3%
合 計	1,369	100.0%



問 あなたが図書館を利用する主な目的は何ですか。

	回答件数	回答比率		回答件数	回答比率
図書の閲覧	1,087	79.4%	CNN放送の聴取	40	2.9%
レポート作成	1,024	74.8%	文献情報データベースの検索	37	2.7%
定期試験の勉強	683	49.9%	情報コンセント	29	2.1%
予習・復習	473	34.6%	文献複写・図書借用依頼	27	2.0%
インターネットの利用	451	32.9%	資料・情報に関する問い合わせ	14	1.0%
図書館資料のコピー	384	28.0%	視聴覚資料の利用	12	0.9%
新聞の閲覧	317	23.2%	他機関蔵書目録検索	11	0.8%
休息・休憩	214	15.6%	電子ジャーナルの閲覧	8	0.6%
雑誌の閲覧	161	11.8%	その他	15	1.1%
本学蔵書目録検索	125	9.1%	合 計	5,112	373.4%

問 図書館内資料のうち、あなたが不足や不満を感じているものは何ですか。（複数回答可）

	回答件数	回答比率		回答件数	回答比率
専門分野の図書	670	48.9%	シラバス掲載図書	75	5.5%
趣味や娯楽のための図書	409	29.9%	視聴覚資料	51	3.7%
趣味や娯楽のための雑誌	274	20.0%	新聞	40	2.9%
授業の中で読むように指定された図書	270	19.7%	文献情報データベース	21	1.5%
教養を涵養するための図書	159	11.6%	電子ジャーナル	16	1.2%
辞典や年鑑など調べ物をするための図書	147	10.7%	その他	393	28.7%
専門分野の雑誌	183	13.4%	合 計	2,708	197.8%

問 図書館内で資料が入手できないとき、あなたはどのようにしていますか。（複数回答可）

	回答件数	回答比率		回答件数	回答比率
自分で書店から購入する	450	34.4%	図書館員に相談する	152	11.6%
他の図書館へ行く	443	33.8%	リクエスト制度を利用する	12	0.9%
友人に相談する	437	33.4%	その他	142	10.8%
教官に相談する	189	14.4%	合 計	1,825	139.3%

問 あなたはレファレンス・サービス（参考調査）を利用していますか。

	回答件数	回答比率		回答件数	回答比率
サービスをよく知らないので利用しない	699	51.1%	よく利用する	18	1.3%
必要がないので利用しない	367	26.8%	その他	12	0.9%
たまに利用する	129	9.4%	無回答	41	3.0%
質問しにくいので利用しない	103	7.5%	合 計	1,369	100%

問 あなたは図書館でどのようなガイダンスを望んでいますか。（複数回答可）

	回答件数	回答比率		回答件数	回答比率
参考図書の探し方・使い方	551	28.1%	電子ジャーナルの探し方・使い方	156	8.0%
文献情報データベースの使い方	316	16.1%	その他	34	1.7%
蔵書検索端末の使い方	291	14.8%	無回答	213	10.9%
館内案内	224	11.4%	合 計	1,961	100%
図書館ホームページの活用法	176	9.0%			

問. あなたがこれから図書館に期待することは何ですか。(複数回答可)

回 答	回答件数	回答比率	回 答	回答件数	回答比率
学生用図書の実充	973	66.7%	視聴覚設備の整備	110	7.5%
研究用図書の実充	571	39.2%	電子ジャーナルの実充	109	7.5%
開館時間の延長	494	33.9%	国際社会への発・受信機能の強化	107	7.3%
パソコン端末の増	474	32.5%	研究者用個室の設置	97	6.7%
閲覧座席数の増	461	31.6%	学内情報関連機関との連携	72	4.9%
24 時間開館	402	27.6%	研究者用座席数の増	62	4.3%
グループ学習室の設置	366	25.1%	学内図書館資料共同利用体制の確立	62	4.3%
蔵書すべてをパソコン端末で検索	355	24.3%	無線 LAN の設置	61	4.2%
研究用雑誌の実充	267	18.3%	図書館資料収集体制の確立	57	3.9%
文献複写入手の迅速化	229	15.7%	図書館ガイダンスの拡充	48	3.3%
他図書館との相互利用体制の強化	181	12.4%	図書館の研究・開発機能の強化	44	3.0%
文献情報データベースの拡充	159	10.9%	研究成果情報のデータベース化と発信	43	2.9%
情報ナビゲート機能の拡充	147	10.1%	情報リテラシー教育支援	21	1.4%
地域社会との連携	117	8.0%	その他	56	3.8%
生涯学習支援	111	7.6%	合 計	5,307	429.1%

問. 図書館に対するご希望やご意見を自由に記入してください。

- ・空調を適切に調整して過ごしやすい環境を
- ・24 時間開館の実施を
- ・早朝開館の実施を
- ・入庫手続きの簡素化を
- ・蔵書検索方法がわかりにくいので、掲示などを
- ・資料配置や館内案内をわかりやすく
- ・マナーの良くない利用者に対して職員が見回って注意を与えてほしい
- ・所定場所に資料が並んでいない
- ・貸出返却のペナルティの改善を
- ・貸出条件の緩和(冊数増、期間延長)を
- ・トイレの改善を
- ・階段で歩行する際に危険な箇所があるので改善を
- ・グループ学習室を設置して欲しい
- ・職員の対応の改善を
- ・早めの改革を、学生の意見を取り入れてほしい

<<教官回答分>>

問. あなたの教育・研究上、重要な情報源は何ですか。(複数回答可)

「雑誌」	569 件	「数値データ」	173 件
「図書」	509 件	「索引・抄録」	170 件
「新聞」	286 件	「目録・書誌」	155 件
「学会報告・会議録」	280 件	「医薬品情報」	154 件
「レビュー誌」	248 件	「テクニカルレポート」	134 件
「学位論文」	187 件	「企業調査報告」	123 件
「政府刊行物」	185 件	「法令/判例」	113 件
「研究動向データ」	183 件	「プレプリント」	111 件
「学会・研究会シンポジウム」	182 件	「特許」	108 件
「調査統計」	181 件	「史料」	97 件
「ディスカッション」	67 件	「その他」	8 件
「私的コミュニケーション」	87 件		

問 あなたが電子形態の情報源を利用する場合、問題があると思われることは次のどれですか。
(複数回答可)

「費用がはっきりしない」	122件	「インターネットで得られる情報が多すぎて	
「どんなデータベースが	110件	質が安定しない」	64件
使えるのか情報がない」		「設定が煩わしい」	53件
「費用がかかる」	94件	「手続きが煩わしい」	51件
「操作が煩わしい」	82件	「利用できる端末が近くにない」	13件
「特に問題はない」	77件	「その他」	22件
「レスポンスが悪い」	76件		
「必要なデータベースがない」	76件		

問. あなたは大学全体で利用可能な有料電子ジャーナルの経費負担についてどのように考えますか。

「大学全体の資料として、大学または図書館で購入すべきである」	319件
「購入希望者が受益者であるので、購入希望者が負担すべきである」	153件
「比率(構成員等)で負担すべきである」	72件
「その他」	15件

問. あなたは大学全体で利用可能な有料電子ジャーナルの購入について、図書館が積極的に調整すべきであると考えますか。

「積極的に調整すべきである」	458件	「その他」	33件
「調整すべきでない」	51件		

問. 図書館に対するご希望やご意見を自由に記入してください。

- ・蔵書の増加を
- ・研究用雑誌の充実を
- ・雑誌の集中を
- ・雑誌の目次速報を e-mail で
- ・電子ジャーナルの充実を
- ・学内でフルアクセスできない
- ・電子ジャーナルの全文入手を
- ・視聴覚設備の充実を
- ・職員中に情報処理専門家を育成して
- ・複写依頼を WEB でできるように
- ・複写文献のデリバリーシステムを
- ・電子ジャーナルやデータベースの利用講習会を
- ・シラバス掲載書の別コーナー配置を
- ・図書の入受整理のスピードアップを
- ・貸出図書のリコール制をインターネットで
- ・研究図書館としての充実を
- ・開架が狭すぎる、かつ資料が古く貧弱
- ・書架への返却は学生・教官にまかせるべきではない
- ・一般図書よりも高額な専門書、新刊書の増加、蔵書増加の具体的計画を
- ・歴史的資料・郷土資料の欠品の補充、集中管理を
- ・資料の共同利用のために各講座所蔵資料の移管・廃棄を
- ・病院地区の図書館・室の統合を
- ・分館スペースの拡張
- ・各学部で充実した資料室を持てば充分、今から本館中心の整備はムダ
- ・画像開発の先端館に職務意識の向上を
- ・電子化による現物の廃棄を
- ・講座予算が2分の1になっていることを図書館としても認識を
- ・留学生へ便宜、一般市民への開放を
- ・予算が少なく研究用には余り役立たない
- ・アンケートについて回収結果の公表を
- ・アンケートには学生指導教育の側面からの設問がありよかった
- ・外国の図書館との比較白書をなど
- ・今後も継続して希望や意見を取り入れてほしい
- ・世界にネットされた図書館に
- ・開架資料の配架がバラバラで探し難い
- ・国際交流などで個性ある図書館に

平成14年度雑誌新規購入・購入中止リスト

新規購入洋雑誌 (27誌)

(平成14年6月末日現在)

新規購入誌名(洋雑誌)	所在
Biometrics	医病(情報)
Bulletin of the atomic scientists : a magazine of science and public affairs	教(社教)
Business week	経済学部
Clinical infectious diseases : an official publication of the Infectious Diseases Society of America	医(臨検)
Current opinion in rheumatology	医短(一般)
Digestive diseases and sciences. New series	医(内科2)
Environmental politics	環境科学部
European journal of radiology	医(放射)
Il Mulino	経済分館
Information and organization	経済分館
International journal of gynecological cancer	医短(看護)
International migration review	経済分館
Journal of antimicrobial chemotherapy	医(臨検)
Journal of autism and developmental disorders	教(心理)
Journal of public health dentistry	歯(予防)
Journal of virology	熱(分子構造)
Magnetic resonance imaging clinics of North America	医(放射)
Medical informatics and the internet in medicine : an international journal of information processing in health care	医病(情報)
Methods of information in medicine : journal of methodology in medical research information and documentation	医病(情報)
Neuroimaging clinics of North America	医(放射)
Neurourology and urodynamics	医(泌尿)
Operations research/management science	経済分館
Oral oncology	歯(外科1)
Organization science : a journal of the Institute of Management Sciences	経済分館
Quality of life research : an international journal of quality of life aspects of treatment, care and rehabilitation	医短(理学)
Socio-economic planning sciences	経済分館
Strategic management journal	経済分館

新規購入和雑誌 (27誌)

新規購入雑誌名(和雑誌)	所在
A+U	教(美術)
BSD magazine	工(情シ)
Cmagazine	工(情シ)
Computer Today	情報処理セ

新規購入雑誌名(和雑誌)	所在
GI research : journal of gastrointestinal research	医(原病)
Linux magazine	工(情シ)
Maclife : the macintosh life style magazine	歯病(薬剤)
Infection Control	医短(看護)
ガバナンス	経済学部
季刊運動(経験)	教(法律)
月刊グローバル経営	経済分館
月刊ジャパワールド	工(情シ)
月刊天文ガイド	教(地学)
月刊マテリアルインテグレーション	工(材料)
現代思想	教(政治)
呼吸	医短(看護)
国際税務	経済分館
コンピュータ&ネットワークLAN	情報処理セ
週刊朝日百科 日本の歴史	教(教育)
情報処理学会論文誌	工(情シ)
ステークホルダーズ	経済学部
税研	経済学部
日経 windows プロ	医病(情報)
日経サイエンス : Scientific American 日本版	医病(情報)
日経バイト	医病(情報)
日経ヘルスケア 21 : 医療・介護の経営情報	医病(看護)
リウマチ科	医短(一般)

購入中止洋雑誌 (99誌)

購入中止誌名(洋雑誌)	所在
Acta physiologica Scandinavica	医学分館
Aesthetic plastic surgery	医(形成)
American journal of human biology : the official journal of the Human Biology Council	教(保体)
The American journal of psychiatry	医(精神)
The American journal of sociology	教(教育)
Antimicrobial agents and chemotherapy	医(臨検)
Applied mechanics reviews : AMR : an assessment of the world literature in engineering sciences	工(構造)
Archives of general psychiatry	医短(作業)
The art book	教(美術)
Art history : journal of the Association of Art Historians	教(美術)
Art press	教(美術)
Ast・risque	工(情シ)
Barron's national business and financial weekly	経済分館
Biochimica et biophysica acta. Reviews on biomembranes (※Biomembranesに吸収)	医学分館
Biological abstracts	医学分館
Biological abstracts. Semi-annual cumulative author, biosystematic, generic & concept indexes. Subject index : reporting the world's biosciences research	医学分館

購 入 中 止 誌 名 (洋 雜 誌)	所 在
Biological chemistry	医学分館
Biometrika	医短 (一般)
Blood : journal of hematology	熱感染防御
The Burlington magazine	教 (美術)
CA ON CD.	薬 (図書)
Canadian geotechnical journal	工 (社開)
Carnegie Rochester conference series on public policy (※Journal of monetary economicsに吸収)	経済分館
Catalysis reviews : science and engineering	工 (応化)
Child development	教 (家政)
Child development abstracts and bibliography (※廃刊)	教 (教育)
CHINA DAILY.	経済分館
Clinical infectious diseases : an official publication of the Infectious Diseases Society of America	医短 (看護)
Community college journal	生涯学習セ
COMMUNITY COLLEGE WEEK	生涯学習セ
Comparative medicine	医 (動実)
CURRENT CONTENTS ON DISKETTE WITH ABSTRACTS : LIFE SCIENCES. (MAC 3.5)	歯 (解剖3)
Dance magazine	中央館
Developmental medicine and child neurology	教 (家政)
Earthquake engineering and structural dynamics	工 (構造)
Ecological applications	教 (生物)
Ecology	教 (生物)
EJB : the FEBS journal	医学分館
Environmental biology of fishes	水 (海動)
European journal of applied physiology	教 (保体)
European journal of endocrinology	医 (内科1)
Experimental physiology	医学分館
Family law quarterly	環境科学部
Far Eastern economic review	経済学部
Geotechnical testing journal	工 (社開)
Geotechnique : the international journal of soil mechanics	工 (社開)
Gold bulletin	歯 (理工)
International journal of control. 1st series	工 (機械)
International journal of remote sensing : an official journal of the Remote Sensing Society	工 (社開)
Jahrbuch für Nationalökonomie und Statistik	経済分館
The Journal of burn care & rehabilitation	医 (形成)
Journal of catalysis	工 (応化)
Journal of clinical microbiology	医短 (看護)
Journal of clinical microbiology	医 (臨検)
Journal of development planning (※廃刊)	経済分館

購入中止誌名 (洋雑誌)	所在
Journal of differential equations	教 (数学)
Journal of digital imaging : the official journal of the Society for Computer Applications in Radiology (※出版中止)	医 (放射)
Journal of environmental engineering	工 (社開)
Journal of fluid mechanics	工 (社開)
Journal of geotechnical and geoenvironmental engineering	工 (社開)
Journal of hydraulic engineering	工 (社開)
Journal of infectious diseases	医短 (看護)
Journal of linguistics	医短 (一般)
Journal of molecular biology	医学分館
Journal of neurochemistry : official journal of the International Society for Neurochemistry	医 (共同図)
Journal of oral and maxillofacial surgery : official journal of the American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons	医 (形成)
Journal of pragmatics : an interdisciplinary quarterly of language studies	医短 (一般)
Journal of strain analysis for engineering design	工 (構造)
Journal of the American Statistical Association	医短 (一般)
Journal of the Royal Statistical Society. Series B, Statistical methodology	医短 (一般)
Journal of waterway, port, coastal, and ocean engineering	工 (社開)
Kyklos : internationale Zeitschrift f · r Sozialwissenschaften : international review for social sciences	経済分館
Language : journal of the Linguistic Society of America	医短 (一般)
Mammalian genome : official journal of the International Mammalian Genome Society	医 (動実)
The Manchester school	経済分館
Mid-America : an historical review (※廃刊)	経済分館
The Naval architect	工 (構造)
L'Oeil	教 (美術)
PERVYI SENTIABRIA	教 (教育)
Pharmacy and pharmacology communications	薬 (図書)
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	歯 (薬理)
Public enterprise	経済分館
Retail merchandiser	経済分館
Revue tiers-monde	経済分館
Rock mechanics and rock engineering	工 (社開)
Russian review : an American journal devoted to Russia past and present	教 (教育)
Scandinavian journal of gastroenterology	医 (内科2)
Schweissen und Schneiden	工 (構造)
Staatsbriefe	環境科学部
Statistical theory and method abstracts (※廃刊)	経済分館
The structural engineer : journal of the Institution of Structural Engineers	工 (構造)
Textile research journal	教 (家政)
UCHITYEDUSKAJA GAZYETA	教 (教育)
Urological research : a journal of clinical and laboratory investigation	医 (泌尿)
Water resources research	工 (社開)
Welding in the world	工 (構造)
Zeitschrift f · r angewandte Mathematik und Mechanik	工 (構造)

購 入 中 止 誌 名 (洋 雑 誌)	所 在
Zeitschrift f. r Kunstgeschichte	教 (美術)
Zycie gospodarcze (※廃刊)	経済分館

購入中止和雑誌 (60 誌)

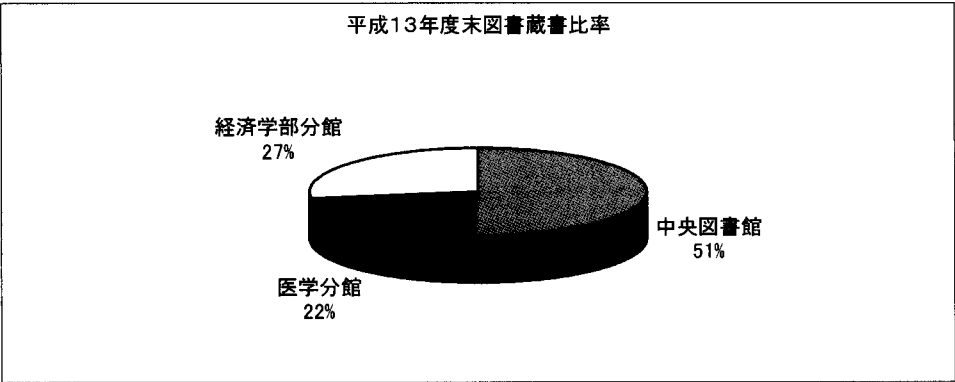
購 入 中 止 雑 誌 名 (和 雑 誌)	所 在
法律判例文献情報	環境科学部
ASCII	情報処理セ
BT : 美術手帖 : bijutsu techo : monthly art magazine	教 (美術)
COFRI ジャーナル (※休刊)	経済学部
DOE	教 (美術)
eとらんす : portal site to translation	経済分館
Internet magazine	情報処理セ
Journal of hydrosience and hydraulic engineering	工 (社開)
Linux magazine	情報処理セ
MacLife : the macintosh life style magazine (※廃刊)	工 (機械)
Newton. 別冊 : graphic science magazine	教 (地学)
英語青年	教育英語
エコノミスト	経済学部
海外繊維技術文献集	教 (家政)
考える子ども	教 (教育)
環境基準・規制対策の実務	医学衛生学
季刊外国為替	経済分館
季刊社会保障研究	教 (教育)
気象 (※休刊)	教 (地学)
気象 (※休刊)	環境科学部
教育と情報 (※休刊)	教 (教育)
近代画説 : 明治美術学会誌	教 (美術)
藝術新潮	教 (美術)
芸大・美大をめざす人へ	教 (美術)
月刊染織α	教 (美術)
月刊タッチPC	中央館
工場管理	経済学部
心と社会	保健管理セ
國華	教 (美術)
思想	教育独語
証券 (※休刊)	経済分館
情報処理学会研究報告. ICS 知能と複雑系	情報処理セ
情報処理学会研究報告. NL 自然言語処理研究会報告	情報処理セ
食の科学	水 (生化)
人工知能学会誌	情報処理セ
人工知能学会誌	機能開発セ
人工知能学会論文誌	機能開発セ
数学セミナー	情報処理セ
繊維科学	教 (家政)
洗濯の科学	教 (家政)

購 入 中 止 雑 誌 名 (和 雑 誌)	所 在
体育の科学	教 (保体)
デアルテ	教 (美術)
デザインの現場	教 (美術)
鉄と鋼	工 (構造)
電子情報通信学会技術研究報告. EID, 電子ディスプレイ	教 (技教)
電子情報通信学会論文誌. D-2, 情報・システム 2-情報処理	工 (情シ)
日経ビジネス	経済学部
日本化学会誌：化学と工業化学 (※休刊)	環境保全セ
日本銀行調査月報	経済学部
日本建築学会計画系論文集	工 (構造)
日本生理学雑誌	教 (保体)
文學	教 (独語)
別冊デザインの現場	教 (美術)
別冊美術手帖	教 (美術)
法学教室	経済学部
溶接学会誌	工 (構造)
熔接技術	工 (構造)
臨床スポーツ医学	教 (保体)
臨床スポーツ医学	教 (保体)
歴史読本	経済学部

平成 13 年 度 附 属 図 書 館 統 計

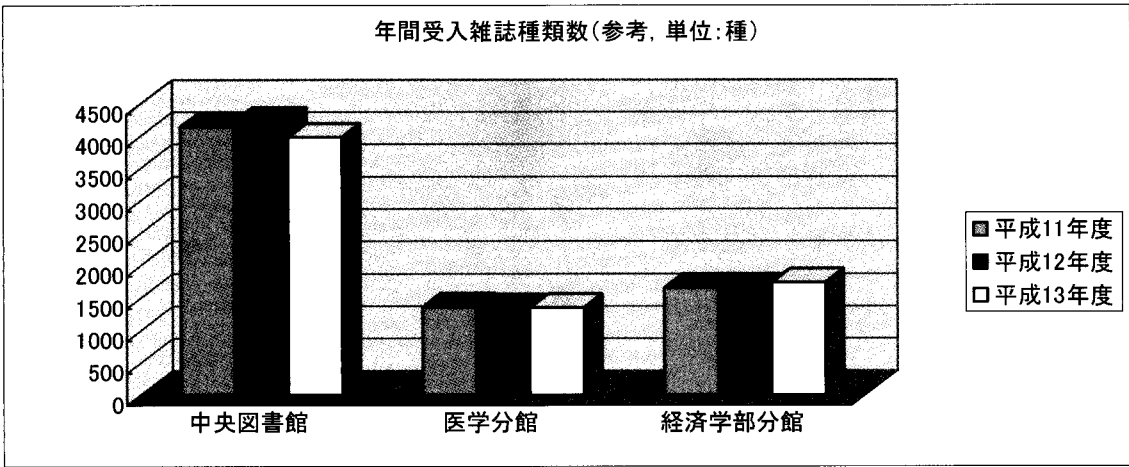
1. 蔵書数

区 分	図書（冊数）			雑誌（種類数）		
	和	洋	合 計	和	洋	合 計
中 央 図 書 館	410,886	127,080	537,966	9,409	3,027	12,436
医 学 分 館	123,261	111,590	234,851	2,784	3,012	5,796
経 済 学 部 分 館	202,598	89,340	291,938	2,437	874	3,311
全 館	736,745	328,010	1,064,755	14,630	6,913	21,543



2. 年間受入数

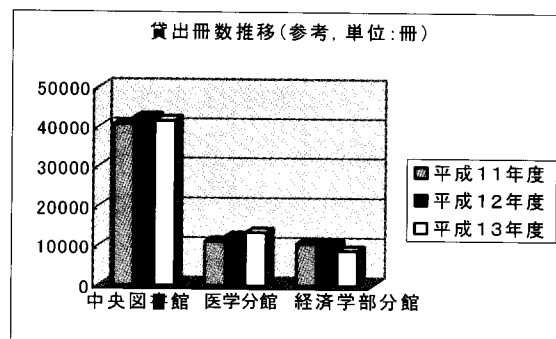
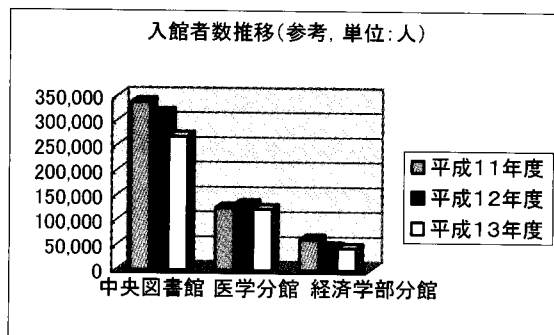
区 分	図書（冊数）			雑誌（種類数）		
	和	洋	合 計	和	洋	合 計
中 央 図 書 館	4,917	1,788	6,705	3,265	718	3,983
医 学 分 館	1,823	2,387	4,210	686	671	1,357
経 済 学 部 分 館	2,853	1,404	4,257	1,273	470	1,743
全 館	9,593	5,579	15,172	5,224	1,859	7,083



3. 入館者数・貸出冊数

区 分	入 館 者 数			貸 出 冊 数				
	教官・職員・学生	学外者	合計	教官	職員	学生	学外者	合計
中 央 図 書 館	263,730	※4,936	268,666	762	492	40,141	184	41,579
(1日平均・開館284日)	(928.6)	(17.4)	(946.0)	(2.7)	(1.7)	(141.3)	(0.7)	(146.4)
医 学 分 館	120,832	1,449	122,281	739	245	12,389	0	13,373
(1日平均・開館289日)	(418.1)	(5.0)	(423.1)	(2.6)	(0.8)	(42.9)	(0)	(46.3)
経 済 学 部 分 館	43,646	368	44,014	2,947	142	5,670	0	8,759
(1日平均・開館273日)	(159.9)	(1.3)	(161.2)	(10.8)	(0.5)	(20.8)	(0)	(32.1)
合 計	428,208	6,753	434,961	4,448	879	58,200	184	63,711

※ 貴重図書入室者220名を含む。



4. 参考調査 (全館)

全 館	教職員	学 生	学外者	合計
文 献 所 在 調 査	14,107	3,140	358	17,605
事 項 調 査	1,159	588	169	1,916
利 用 案 内	1,430	3,349	302	5,081
情 報 検 索	869	674	62	1,605
そ の 他	1	1	0	2
合 計	17,566	7,752	891	26,209

5. 利用指導 (全館)

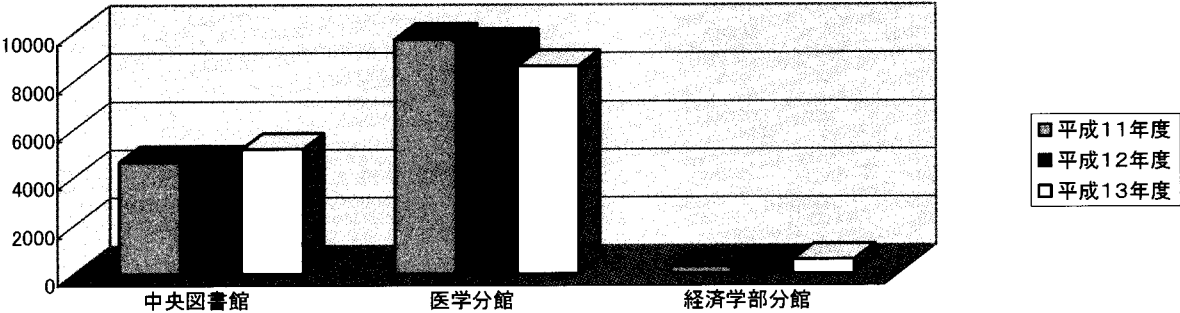
区 分	前 期		後 期		合 計	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
図書館ツアーコース	0	0	1	13	48	430
図書検索コース	(12)	(93)	1	14		
雑誌検索コース	(8)	(66)	1	4		
新聞記事検索コース	(8)	(54)	1	10		
情報検索コース・その他	(7)	(176)	1	5		
情報検索 A コース	0		7	35		
情報検索 B コース	0		1	1		
合 計		35		348	48	430

(カッコ書きは延べ回数・人数)

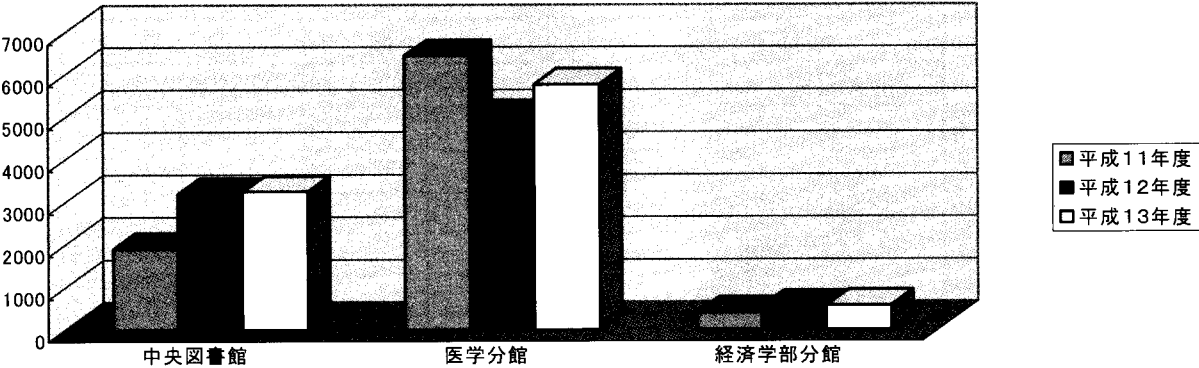
6. 相互利用(全館)

区		分		教職員	学 生	学外者	合計
学内他図書館	文 献 複 写	依	頼	526	107	／	633
		受	付	641	0	／	641
	相 互 貸 借	借	受	86	3	／	89
		貸	出	77	1	／	78
学 外 他 機 関	文 献 複 写	依頼	他大学図書館	11,344	1,199	／	12,543
			その他の機関	497	96	／	593
			国 外	97	0	／	97
		受付	他大学図書館	／	／	8,153	8,153
			その他の機関	／	／	267	267
			国 外	／	／	0	0
	相 互 貸 借	借受	他大学図書館	320	66	／	386
			その他の機関	8	5	／	13
			国 外	1	0	／	1
		受付	他大学図書館	／	／	415	415
			その他の機関	／	／	20	20
			国 外	／	／	0	0

依頼件数推移(参考, 文献複写依頼件数+現物借用件数)



受付件数推移(参考, 文献複写受付+現物貸出件数)



平成 14 年度附属図書館委員会委員名簿

附属図書館委員会委員名簿

官職指定委員

官 職 名

館長	安河内 義己
(任期 平 13. 4. 1～平 15. 3. 31)	
医学分館長	中村 卓
(任期 平 13. 7. 16～平 15. 7. 15)	
経済学部分館長	柴多 一雄
(任期 平 14. 5. 17～平 16. 5. 16)	
総合情報処理センター長	黒田 英夫
生涯学習センター長	糸山 景大
留学生センター長	松村 功啓
全学教育実施委員会委員	栗山 一孝
事務局長	廣瀬 寛

部局選出委員

教育学部	勝俣 隆
経済学部	三原 泰熙
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	
医学部	松山 俊文
歯学部	吉田 教明
(任期 平 13. 10. 1～平 15. 3. 31)	
薬学部	中村 純三
工学部	香川 明男
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	
環境科学部	池永 敏彦
水産学部	松林 法寛
熱帯医学研究所	門司 和彦
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	
生産科学研究科	玉置 昭夫
医歯薬学総合研究科	吉田 教明
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	
医療技術短期大学部	松本 正
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	

医学分館運営委員会委員名簿

官職指定委員

官 職 名

医学分館長	中村 卓
-------	------

部局選出委員

医学部	松山 俊文
歯学部	吉田 教明
(任期 平 13. 10. 1～平 15. 3. 31)	
薬学部	中村 純三
(任期 平 14. 4. 1～平 16. 3. 31)	
熱帯医学研究所	門司 和彦
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	
医学部附属病院	雨宮 次生
歯学部附属病院	吉田 治志
(任期 平 13. 10. 1～平 15. 3. 31)	

経済学部分館運営委員会委員名簿

官職指定委員

官 職 名

経済学部分館長	柴多 一雄
---------	-------

部局選出委員

経済学部	三原 泰熙
(任期 平 14. 4. 1～平 15. 3. 31)	
経済学部	田村 耕一
経済学部	高木 かおる
経済学部	川口 幸美
(任期 平 14. 4. 11～平 16. 4. 10)	
経済学部	東條 正
経済学部	白水 桂子

〔氏名の下に任期を記入していない委員の
任期 平 13. 4. 1～平 15. 3. 31〕

人 事 異 動

(新)

(旧)

4月 1日付	山口大学附属図書館情報管理課長	情報サービス課長	村上 章 徳
	情報サービス課長	(独) 国立女性教育会館情報交流課長	
			森 高 桂 子
	資料管理係	情報システム係	深 川 昌 彦
	情報システム係	医学情報係	宮 崎 紀 子
	医学情報係	資料管理係	森 石 みどり
	資料管理係(事務補佐員)	(新規採用)	松 田 綾
8月 20日付	資料管理係(育児休業)		宮 脇 千 幸
	資料管理係(育児休業に伴う臨時的任用)		田 中 舞
3月 31日付	(退職)	資料管理係(事務補佐員)	流 川 彩 子

図 書 館 日 誌

- 3月 8日(金) 平成13年度第4回附属図書館委員会
 13日(水) 施設見学(放送大学長 教務部長)
 14日(木) 施設見学(防衛庁防衛研究所 上野図書館長)
 19日(火) 古写真展開催(於; 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター～3/20)
 4月 1日(月) 人事異動者辞令交付・着任式(森高情報サービス課長)
 18日(木) 第32回九州地区国立大学図書館協議会(於; 別府市 亀の井ホテル)
 19日(金) 第53回九州地区大学図書館協議会(於; 別府市 亀の井ホテル)
 25日(木) 附属図書館係長会議
 5月 9日(木) 幕末明治期古写真超高精細画像データベース公開記者発表
 17日(金) 長崎県大学図書館協議会幹事館会議
 21日(火) 平成14年度国立大学附属図書館事務部課長会議(於; 学術総合センター)
 23日(木) 第73回日本医学図書館協会総会(於; 松山市 南海放送本町会館)
 28日(火) 平成14年度第1回附属図書館医学分館運営委員会
 29日(水) 平成14年度第1回附属図書館経済学部分館運営委員会
 30日(木) 附属図書館係長会議
 6月 12日(火) 長崎県大学図書館協議会総会(於; 佐世保市 長崎国際大学)
 17日(月) マサチューセッツ工科大学(宮川教授)来館
 26日(水) 第49回国立大学図書館協議会総会(於; 鳥取市 鳥取県立県民文化会館)
 7月 4日(木) 平成14年度第1回附属図書館委員会
 27日(土) 平成14年度九州地区国立大学附属図書館ソフトボール大会
 8月 6日(火) 平成14年度第2回附属図書館医学分館運営委員会

長崎大学図書館報 図書館ニュース No. 86 2002年(平成14年)8月31日発行

編集委員会 委員長 森高 桂子

委 員 金丸明彦・志波原智美・塩塚一枝・原田一洋・山下昭光

発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

電話 (095) 847-1111(大代表) HPアドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>